

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	88	事業名	自主防犯活動支援事業 (中事業名) 自主防犯活動支援事業		担当課		安心安全課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		2.1.13.2 自主防犯活動支援事業		
					決算書ページ		74	～ 一般	
I 基本情報	総合計画	基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち						
		政策	1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり						
		施策	(3) 交通安全・防犯の推進						
	その他	開始年度	-						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可		
		根拠法令等	長久手市安心で安全なまちづくり条例						
		関連計画							
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)			
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 60,000人		【アクションプラン指標】 防犯ボランティア団体数【単年】 【その他の指標】 青パトロールカー貸出回数		刑法犯認知件数の減少 (成果指標名) 刑法犯認知件数		④最終成果 (大事業の将来像)	
		地域住民の自主防犯活動支援のため、講習会の開催、支援資機材の貸与、団体同士の連携の機会を提供する会議の開催等を行う。						大事業共通 防犯意識が高く犯罪のないまちになる	

活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
活動指標	1	【アクションプラン指標】 防犯ボランティア団体数【単年】	団体	基準値	22	目標値	22	22	22	22	
				目標値	22	実績	21				
	2	【その他指標】 青パトロールカー貸出回数	回	基準値	-	目標値	12	12	24	24	24
				目標値	-	実績	12				
	3			基準値		目標値					
				目標値		実績					
	4			基準値		目標値					
				目標値		実績					
事業開始の背景		防犯啓発活動や愛知県警察の活動により刑法犯認知件数の減少が続いていたが、令和4年度からやや増加傾向にある。									
各年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
エピソード	R6	犯罪手口は多様化、複雑化していることから、警察等と連携し、防犯啓発品等を用いた啓発活動を進めてきた。 一方で、自主防犯ボランティア団体の構成員の高齢化により団体数が減少しました。このようなことから、初めて登録のある防犯ボランティア団体に現状を調査し活動状況を確認した。引き続き、コミュニケーションを図りつつ、団体が継続活動ができるように情報や資材の提供を行っていく。				R7					
	R8					R9					

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		刑法犯認知件数		件	R3 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R8 年度		R10 年度	
					198		299		382		254		224	
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					防犯パトロール及びキャンペーン等を行い、刑法犯認知件数を減らすことを目標としている。 目標数値は、R5を基準に毎年5%の件数減少を目標としている。						
	評価の理由、分析													
	刑法犯数は、近年、増加傾向となっているが、防犯活動としては啓発が最も重要なツールであるため、引き続き、警察や地域と連携しながら啓発等の取組が必要と考えている。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由										
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		自主防犯ボランティア団体が継続活動できるよう情報や資材の提供を行うなど、コミュニケーションを図る。 市民等対象の行動変容を促す啓発等の検討を行い、効果的なものとなるように取り組みたいと考えている。									
		改善ポイント												
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）														
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度				
1	啓発事業	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	市民等対象の行動変容を促す啓発等の検討を行い、効果的なものとなるように取り組みたいと考えている。											
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
			C. 縮小 D. 廃止			4,567	4,128	6,985	6,149	6,947	
		理由			特定財源	合計額	340	347	660	1,017	660
		継続した事業の実施が重要なため、費用面は現状を維持し、ソフト面での改善をしつつ、事業目的に沿って実施していきたいと考えている。				(内 国費)					
						(内 県費)	340	347	660	1,017	660
						(内 諸収入)					
						(内 その他)					
		積算額			一般財源		4,227	3,781	6,325	5,132	6,287
		未定			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞						
		防犯カメラ設置費等負担金 3,564千円（3,470千円）									
		消耗品費 86千円（33千円）									
		食糧費 0千円（4千円）									
		防犯カメラ維持費等負担金 3,297千円（3,478千円）									